

スタジオパーク 「新"人口推計"の意味合い」

2012 年 02 月 03 日 (金)

国立社会保障・人口問題研究所は今週、50年後の日本の人口推計をまとめました。この推計の意味合いと、超高齢化社会に向けた課題について藤野優子解説委員に聞きます。

Q 1 急速に人口減少と高齢化が進むんですね。

A そう。今後 50 年で、日本の人口は3分の2になり、そのうち 65 歳以上の高齢者の割合が 4 割と、世界でも例をみない超高齢化社会に日本は突入していく。社会保障の支え手や経済の担い手が急速に減少し、これから社会の安定や経済活動をどうやって維持していくか、難しい課題に直面することになる。

Q 2 でも、50年後といわれても、自分はどうなっているかわからないし、もう関係ないかと思ってしまうが。

A そう考える人はいるかもしれないが、いきなりかわるわけではなく、10年後、20年後も今よりもっと少子高齢化は進んでいく。

また、今テレビをご覧の皆さんのお子さんやお孫さんが働き盛りの頃に、まさに重い負担を担う当時者となる。ですから、今から、あらゆる対策を総動員して、この超高齢化社会をどう乗り越えていくのか、知恵を絞らなければならない。